

# 岐阜大学地域科学部国際教養コース 2016年4月開設

## 1. 本コースの概要と目標

光もあれば影もあるグローバル化した社会では、リベラル・アーツ教育にもとづく幅広い教養と、自文化ならびに異文化に対する理解力を具えて、諸課題を的確に把握し、その解決を展望する学識が求められます。本コースでは、日本人学生については、外国語運用能力の向上を図るとともに、留学などを通して異文化に対する理解を、また外国人学生については、集中的な学習による日本語および日本文化に対する理解を深めて、グローバルな学識を養うことを目標とします。

## 2. カリキュラムの特徴

- (1) 日本人学生には海外の学術交流協定大学（主に英語圏を想定）に原則として2年生後期～3年生前期の1年間留学することを必修化します。また、留学に向けて、新たに外国語運用能力を高める少人数の講義科目を新設します。
- (2) 外国人学生には、1年生後期～2年生前期の1年間は、留学生センターが開講する「日本語・日本文化研修コース」を優先して学んでもらう予定です。また、3年生前期の必修科目である「地域学実習」で、インターンシップなどの社会活動への参加を通じて、日本社会の現状を実体験してもらいます。
- (3) 日本人学生の留学中以外は、さまざまな講義や実習で日本人学生と外国人学生がともに学ぶ「多文化共生型」のカリキュラムとなっています。

## 3. 想定される学生数

本学部のコースは、学生自身による選択制をとっている（定員制ではありません）ため、実際に本コースを選択する学生数は現時点ではわかりませんが、これまでの実績などを考えると、日本人・外国人とも最大5名程度を想定しています。

